

要指導医薬品

医薬品を正しく購入するための

説 明 文 書

ギュラック



1	名 称	ギュラック									
2	成分・分量	1 日量（3 錠）中 成分 分量 ポリカルボフィルカルシウム 1 5 0 0 m g									
3	用法・用量	次の量を食後に水で服用してください <table border="1"> <thead> <tr> <th>年齢</th><th>1 回量</th><th>服用回数</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>大人（1 5 才以上）</td><td>1 錠</td><td>1 日 3 回</td></tr> <tr> <td>1 5 才未満及び 7 5 才以上</td><td colspan="2">×服用しないこと</td></tr> </tbody> </table> （1）定められた用法・用量を厳守すること （2）コップ 1 杯（約 1 8 0 m l）の水とともに服用すること （水と服用しないと、服用時にのどや食道で、つかえる可能性がある） （3）錠剤を分割又は砕いて服用したり、ゼリーやとろみ剤などの服薬補助剤とともに服用しないこと（服用時にのどや食道で膨張して、つかえる可能性がある） （4）錠剤・カプセル状の健康食品などと同時に服用しないこと （のどや食道で、つかえる可能性がある） （5）症状の改善がみられても、服用は最大 4 週間までとすること	年齢	1 回量	服用回数	大人（1 5 才以上）	1 錠	1 日 3 回	1 5 才未満及び 7 5 才以上	×服用しないこと	
年齢	1 回量	服用回数									
大人（1 5 才以上）	1 錠	1 日 3 回									
1 5 才未満及び 7 5 才以上	×服用しないこと										
4	効能・効果	過敏性腸症候群の次の諸症状の緩和：腹痛又は腹部不快感を伴い、繰り返し又は交互に現れる下痢及び便秘（以前に医師の診断・治療を受けた人に限る。）									
5	保健衛生上の危害を防止するために	■してはいけないこと （守らないと現在の症状が悪化したり、副作用が起こりやすくなる） 1. 次の人は服用しないこと （1）医師から過敏性腸症候群の診断・治療を受けたことがない人 （2）過敏性腸症候群の再発かどうかよくわからない人 （例えば、今回の症状は、以前に過敏性腸症候群の診断・治療を受けた時と違う） （3）次の症状がある人 ●就寝中などの夜間にも、排便のためにトイレに行きたくなったり、腹痛がある ●発熱がある ●関節痛がある ●粘血便（下血）がある ●繰り返しひどい下痢がある ●急性の激しい下痢がある ●排便によってよくならない腹痛がある ●嘔吐がある ●6 ヶ月以内に、3 k g 以上の予期せぬ体重減少 （4）次の病気にかかったことのある人 大腸がん、炎症性腸疾患（クローン病、潰瘍性大腸炎等） （5）腹部の開腹手術を受けたことがある人で、次の症状を起こしている人（胃腸閉塞を引き起こす可能性がある） 激しい腹痛、ガス排出（おなら）の停止、腹部膨満感を伴う著しい便秘（胃腸閉塞様症状） （6）次の治療を受けている人 急性腹部疾患（虫垂炎、腸出血、潰瘍性結腸炎等）、高カルシウム血症、腎結石、腎不全（透析中を除く） （7）本剤又は本剤の成分によりアレルギー症状を起こしたことがある人 （8）嚥下が困難な人（食べ物などが飲み込みにくいと感じている人） （9）1 5 才未満の小児及び 7 5 才以上の高齢者 2. 本剤を服用している間は、次の医薬品を服用しないこと 過敏性腸症候群（I B S）の症状改善薬（トリメブチンマレイン酸塩等）、活性型ビタミン D 製剤（アルファカルシドール等）、カルシウム剤（乳酸カルシウム等）、強心配糖体（ジゴキシン等）、抗生物質（テトラサイクリン、ノルフロキサシン等）、プロト									

		ンポンプ阻害剤（オメプラゾール等）、H₂ ブロッカー（ファモチジン、ラニチジン等）、制酸剤（水酸化アルミニウムゲル、水酸化マグネシウム等）を含有する医薬品 3. <u>長期連用しないこと</u> ■相談すること 1. 次の人は服用前に医師又は薬剤師に相談すること （1）医師の治療を受けている人 （2）妊婦又は妊娠していると思われる人 （3）50才以上の人 （4）貧血がある人 （5）薬などによりアレルギー症状を起こしたことがある人 （6）次の診断を受けた人 糖尿病、甲状腺機能障害、副甲状腺機能亢進症 （7）高カルシウム血症のあらわれやすい人（ビタミンD過剰症等） （8）胃酸の分泌が欠乏又は減少、もしくはそれらの疑いのある人 （9）大腸がん、炎症性腸疾患の家族がいる人 （10）腹痛、便秘がひどい人 （11）透析を受けている人
6	薬剤師が必要と判断する事項	

〔注意事項〕

1. 本紙の内容は、お客様が医薬品を購入・選択時に役立たせるために必要な情報です。
2. 法令により、要指導医薬品は必ず、第1類医薬品は薬剤師が不要と判断した場合を除いて、情報提供を行います。
3. 服用後、体調に変化等があった場合（副作用など）には服用を中止し、すぐに購入された店舗または薬剤師にご相談下さい。